

with… 若き女性美術作家の生涯

“With…” — The Life of a Young Artist —

劇映画を超えた真実の物語

2000年以降、世界各地で絶賛された、日本のテレビドキュメンタリーが、映画になって再び世界へ。

言葉も知らない、資金もない、知人もほとんどいない。頼れるのは、自分の美術の才能だけという主人公の佐野由美さん。大学卒業と同時にネパールに渡り、貧困地区の小学校でボランティアの美術教師になります。彼女は、あの阪神大震災で神戸の自宅が全壊し、ガレキの中から命拾いしていました。そして、多くの人々から支えられた経験が、彼女を変えたのです。

私は望んで、ここまで来た。
私は ここで探すものがある

美術作家であることを「世の中での自分の使命にしたかった」と志した彼女が、貧困下で生きる人々と日々ふれ合うことで、社会の矛盾に悩み苦しみながらも成長していきます。そんなみずみずしい姿に、誰もが本当の「生きる意味」を見つけられるでしょう…。

1998年から4年がかりで撮った映像は圧倒的な説得力です。



佐野由美 (さの ゆみ)

Yumi Sano

1975年、神戸市長田区生まれ。1998年3月、大阪芸術大学美術学科首席卒業。同年4月～翌年4月、NGOの長期先生派遣事業に参加。1年間ネパール・パタンに滞在。ラリット福祉小学校で美術指導を行う。滞在中、美術作家として創作活動に精力的に取り組む。2001年4月、ギャラリーほりかわ(神戸)で滞在中の作品を中心とした個展が開催された。その後、各地で開催されている。

「神戸・長田スケッチ 路地裏に綴るこえ」(六甲出版)、「ネパール滞在日記 パタンの空より」(シーズ・プランニング)を出版。

リアリティーを求める意味 監督・榛葉 健 (しば たけし) Takeshi Shiba

この映画の主人公、佐野由美さんの美術は、世界の現実を自分の目で見て、それを誰もがわかる形でキャンバスに投影する…というものでした。23歳の若さで見聞きする世界は、普通広くはありません。だからこそ彼女はあえて見知らぬ土地に住みつき、現実の苦みを吸収し、人間の普遍的な真理を求めたのです。

その“現実”を追求する彼女を描く私もまた、今回、“現実”と向き合うことを迫られました。事の成り行きは明かせませんが、すべてはカメラの向こう側で起きた事実です。それを劇映画のように“よくできた物語”として眺めるのではなく、同じ時代を生きる“当事者の一人”として受け止めていただければと思います。その意識が集まれば、いつか世界を変える力になるはずです。

映画を見終わった時、皆さんの心に“何か”が生まれることを願ってやみません。

「with…」のあとにつけた「…」こそ、この映画が新たに生み出す“何か”です。



震災20年プロジェクト上映会

2015年2月14日(土) 13:30開場 14:00開演

場所：兵庫県立文化体育館 (小ホール)

入場料金：1500円 中学生以下無料

*当日受付にてお支払いください。

お問合せ：新生ホームサービス株式会社 宮本

078-242-2470 c.miyamoto@shinseihomeservice.com

※チケット代は経費を除き、『with…』基金に寄付し、ネパールをはじめ、アジアの貧困地区の子どもたちの教育支援に役立てます。

同時開催「佐野由美 作品展」*観覧無料

2015年2月14日(土)～2月22日(日) 11:00～19:00

場所：兵庫県立文化体育館 中央ギャラリー

お問合せ：078-631-1701 (兵庫県立文化体育館)

主催：「with…若き女性美術作家の生涯」全国上映委員会 ・ 新生ホームサービス株式会社

<http://with2001.com>

<http://www.shinseihomeservice.com/>

